



事業計画名

折損した木製バットを原材料とした
意匠性の高い靴べらの開発コロナ禍を機に開発した
優れたデザインの新商品が
野球界で注目を集める取組への
経緯高品質の紳士服メーカーが
野球関連商品の開発に挑戦

当社は平成27年（2015）に創業した紳士服メーカーである。紳士服の企画、開発から生産、販売まで一貫して手掛け、大手紳士服チェーン店やアパレル小売りへの卸販売を行ってきた。また、オーダースーツの直営専門店「テーラーアライアンスジャパン」を東京で運営し、現在は新橋と神田に出店、高品質のスーツを手頃な価格で提供し、お客様から好評をいただいている。

以前はリテール事業として、トレンドの発信を目的にセレクトショップの運営も行っていた。しかし、会社の事情によりこの事業からの一時撤退を決めた時期に、新型コロナウイルスの影響によって紳士服需要が減少したことが重なり、会社全体の売り上げが激減する事態となった。コロナ禍のさなかには、主要取引先の小売店は在庫調整のため仕入れを停止・縮小し、回復の見込みも立たない。

こうした問題を解決するためには、早急に新規事業を立ち上げる必要がある。そこで、現社長が特別な思い入れを持っている野球に関連した事業に取り組むことを目指した。きっかけは、公式スーツのサプライで取引のある社会人野球チームを訪れた際に折れた木製バットが山積みになっており、この再利用についての相談を受けたことによる。このチームでは、年間120本も生じる折損バットを、



使い道を見いだせないまますべて焼却処分していた。そこで、これをアパレル関連商品としてリユースする方法を模索し、ロングタイプの靴べらに加工した商品を着想した。

事業概要

廃棄される折損バットを
独自の技術で靴べらに加工

当社が企画したオリジナルの靴べらは、折損バットの先端部分を削り出したもので、最大の特徴は、見た目がバットそのものの意匠になっている点である。試作したところ、グリップ部分が手に馴染みやすく、バットの原材料であるアオダモ特有の軽さ、適度な柔らかさ、反発力を備えた、極めて使いごこちのよい製品に仕上がった。取引先の約100人に試用してもらったところ、「直立のまま楽に靴がはける」「バットのおもしろい」などと高評価をいただき、事業化を目指すことにした。

しかし、この試作品は木工職人がすべて手作業で行い、一本が完成するまでに約8時間もの時間を要した。これでは量産販売にこぎつけるのは難しい。そこで、本事業を活用し、量産化できる加工機械を導入した。



導入したNC工作機(奥)、ラジアルソー(手前)

課題

- 折損バットを活用した「靴べら」の開発

1

取組

- 製造時間を短縮する機械の開発
- ECサイトの構築

2

成果

- 製造時間の大幅な短縮
- 商品の高品質化
- ECサイトの運営による売上の回復

3



NC工作機で溝を掘り、丸ノコギリで直線カットする

製造工程は、①折損バットの選別、②ヘッドの切削、③表面の研磨、④チームロゴや名入れなどの印字加工、⑤艶出し仕上げ、の5段階である。このうち②と④に使用する機械「バット靴べら加工機」を、地域の工作機械メーカーと共同で開発した。特に②の工程は試作時に7.2時間を要しており、量産化の最大のネックだったが、機械の導入により1本あたり47分で加工が完了し、大幅な時間短縮を実現することができた。バット靴べら加工機による加工技術



(奥から)折損バット、初期の製品、現在の製品

は当社独自のものなので、「木材垂直切削工法」として特許申請も行った。

また、同時に本事業で

は、商品の魅力発信と売上向上を図るため、決済機能を有するECサイトの構築も行った。

取組成果
活用状況プロ野球の球団からも受注
さらなる需要の掘り起こしへ

機械導入後の生産は軌道に乗り、機械操作にも慣れた現在では、1本あたりの製作時間が約35分と生産効率もさらに上げることができた。また、ECサイトの運営も順調で売り上げも着実に伸びており、プロ野球のとある球団のグッズとしての採用も決まった。

野球人口は減少していると言われているが、プレイヤーは一定数存在し、ファンも多い。今後も、チームのノベルティや引退記念品としての需要の掘り起こし、大手紳士服チェーンや球団などへの展開を積極的に行っていく。また、この商品が資源循環型の取り組みであることもアピールしていきたい。



ECサイトを構築

Company Data

代表取締役
坪内 研二

当社は高品質の生地とスタイリングにこだわったオーダースーツの販売を中心とした事業を展開していますが、コロナ禍を機に、少年時代から今に至るまで大好きな野球に関連する商品を、取引のあるチームや関係者の方々のご協力を得ながら開発しました。この商品で野球界に、あるいは地球環境に少しでも貢献したいと考えています。

| | |
|--------|--|
| 事業者 | 株式会社スライズ 〒501-3217 岐阜県関市下有知417-1 TEL 0575-29-4129 FAX 0575-29-4130 |
| 業種 | 繊維工業 |
| 設立 | 平成27(2015)12月7日 |
| 資本金 | 5,501万円 |
| 従業員数 | 3人 |
| 事業内容 | 木材・木製品製造 |
| URL | https://bat-sdgs.com/ |
| E-mail | - |